

桐生市長

荒木恵司様

要望書

桐生市議会

要 望 書

平成31年4月の統一地方選により選ばれました、第25期 桐生市議会議員22名は、令和元年5月2日から新たな気持ちでスタートを切りました。

桐生市議会は、市民の皆様から信託を受け、議会及び議員としての職責を全うするため、市民と向き合う議会として、日々、議会改革に取り組んでおります。

これまでも、全議員による「議会報告会・意見交換会」や「まちづくり討論会」を通じて、市民の皆様から貴重なご意見、ご要望を頂戴し、また、日頃から議員個々の活動により、地域住民からのさまざまな声に耳を傾けてまいりました。

これらの取組や活動を通じて得られた市民の声が市政に反映できるよう、議会としては、政策条例の提案や政策提言等を積極的に行うとともに、昨年度は、桐生市議会として初めて当初予算編成前に予算要望書を市長に提出いたしました。

今年度においても、当初予算要望書を市長に対して提出することを議員総意で決定し、各常任委員会において市民の声や各種団体のご意見、ご要望等を踏まえ、今、桐生市にとって何が必要か、何を進めるべきかなどについて、慎重に協議を重ね、常任委員会単位で3項目ずつ、計9項目の予算要望項目の絞り込みを行いました。

当初予算編成にあたっては、財政状況が大変厳しいことは理解しておりますが、この要望は、今後の桐生市の持続的発展や活性化等につながるものでありますので、是非とも御検討の上、令和2年度当初予算に反映していただきますよう、強く要望いたします。

令和元年9月11日

桐生市議会

議長 北 川 久 人

令和2年度 桐生市議会当初予算要望

I 総務委員会

◎職員研修の拡充について

SDGsや公民連携の推進など、時代の変化に対応した政策の立案や、質の高い市民サービスを提供できる職員の育成を目指し、知識の習得や先進地視察の機会拡大を図ること、及び桐生市職員不祥事再発防止調査特別委員会からの提言書をふまえた市職員としての基本的な職員研修の更なる充実を強く要望いたします。

◎公共交通等に関すること。

市民生活における日常の移動手段の確保が喫緊の課題となっていることから、各鉄道やおりひめバスを基軸とした公共交通の相互連携強化に取り組むこと、及びデマンドタクシーなどにより既存の公共交通を補完する交通手段の充実を図ることについて、調査・研究の取り組みを強く要望いたします。

◎財源の確保策について

各公共施設へのネーミングライツの導入や、市内産品を活用したふるさと納税の充実等による市独自の財源確保策について、調査・研究の取り組みを強く要望いたします。

Ⅱ 経済建設委員会

◎他市区町村と産業振興での連携を図ること。

“ものづくり”技術が集積し、本市と良好な関係にある他市区町村や先進的な取り組みを行っている他市区町村との連携を図り、産業振興について、その一助となるよう調査・研究することを強く要望いたします。

◎桐生市工場アパートの有効活用を図ること。

平成 11 年に設置された桐生市工場アパートは、本市の地域経済の発展に期するためにも、より柔軟に入居が出来るような要件緩和等を図るなど、桐生市工場アパートの有効活用について調査・研究することを強く要望いたします。

◎道の駅「やまびこ」の施設の充実を図ること。

桐生地域唯一の道の駅「やまびこ」の施設の充実を図るために、老若男女が家族連れで楽しめるような工夫を凝らした道の駅の施設設計や運営方法等について、調査・研究することを強く要望いたします。

Ⅲ 教育民生委員会

◎保育士及び介護士の処遇改善・資質向上・人材確保に関すること。

桐生市の将来を担う子どもの健全育成と高齢者の生活を守るうえで、保育士及び介護士の存在は必要不可欠である。桐生市独自の処遇改善を図るとともに、保育士については資質向上、また介護士については外国人を含む人材確保対策を講じることを強く要望いたします。

◎共生社会の実現に向けた障がい者スポーツの促進に関すること。

誰もが夢を持ち挑戦していく心を養うことは健常者のみならず障がい者にとっても重要であり、スポーツはそのフィールドのひとつである。共生社会の実現に向け、誰もが等しくスポーツができる環境を整備し、障がい者スポーツの認知度向上と普及活動を促進することを強く要望いたします。

◎防災教育の充実に関すること。

学校現場における防災教育の充実により、児童・生徒から、家族、更には地域の防災意識の高揚、防災力の向上へと繋げられるような、桐生市独自モデルの防災教育の事業化を強く要望いたします。